鉈屋町
町内会だより

不定期発行

発行者
鉈屋町町内会

編集 / 文責 / 撮影
桂 汎用工房
脇田 桂一郎

印刷
小松総合印刷
株式会社

盛岡町家 旧暦の雛祭り 2024

昨年は「盛岡町家 春祭り」として行われた雛祭りが、今年は従来の「旧暦の雛祭り」として開催されることになりました。

まだ詳細は発表されていませんが、4月13・14日の土日、鉈屋町の一部を通行止めにすることは決まっているようです。

通行止めの範囲は、和田酒店の丁字路から、キダナさん前の丁字路までとなり、これまでよりは短くなります。

本来ならこの町内会だよりではイベントの告知などを行わないのですが、（発行日が決まってないので、イベントの後に回覧されたりすることがある）鉈屋町で一番有名かつ大きなイベントでもありますので、ここでご紹介させていただきます。

盛岡秋まつり（め組）調査報告会

岩手県立大学盛岡短期大学部国際文化学科の三須田 善暢先生の「地域社会論演習」では、学生さんたちが盛岡秋まつりと「め組」の調査を行い、その報告会が3月15日に行われました。

場所は大慈寺地区コミュニティ消防センター2階です。

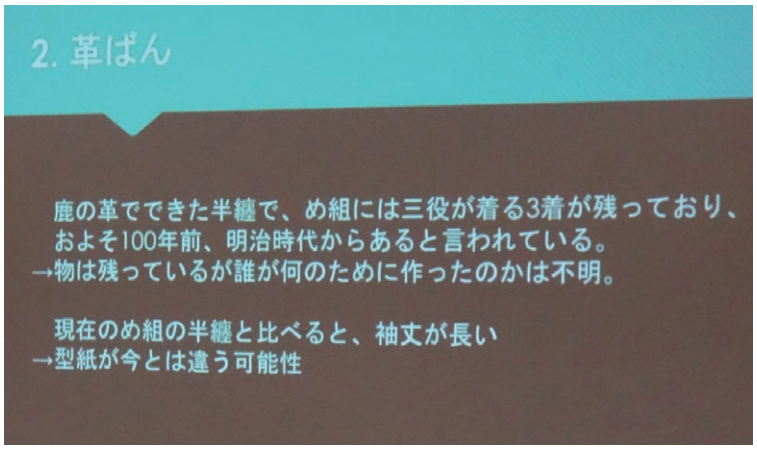
実際にまつりに参加したり、自分なりに疑問に思ったことを追求してみたり、様々な発表が続きます。

聞きに集まったのは消防団第2分団（め組）、盛岡山車音頭研究会、町内の方々など。

私が面白いと思ったのは「革ばん」に関する調査でした。革ばんとは、鹿の革でできた丈の長い半纏で、め組の三役（頭取、副頭取2名）が着るものです。

ただし、まつりの期間中、常に着ているものではないようで、今回の秋まつりでも八幡下りのときと、最終日の鉈屋町練り歩きにしか着用していなかったと思います。正装というよりは勝負服のようなものでしょうか。

革ばん　コートのように丈が長い。モデルは岡田 勉 頭取。



発表内容は、今回の秋まつりの経緯や問題点、山車の歴史・演題の選出方法、音頭がどのように受け継がれてきたかなど、まつりに直接接して調べたものもあれば、まつりに対する住民の意識調査をアンケートで行い、今後秋まつりを継続していくためにはどうすればよいか、といった方法論などもありました。

当たり前のように思っていたことに深い意味があると気付かされたり、鋭い指摘があったりと、学生らしい視点が新鮮に感じられた時間でした。

町家の日 in 盛岡

3月8日の町家の日とは、京都の京町家情報センターが制定したもので、英語で3月のマーチ（March）と8（や）の語呂合わせだそうです。そしてこの日の前後に合わせて「町家の日普及実行委員会」が主催する「町家の日 week」が全国各地で開かれ、盛岡も今年初めて参加することになったそうです。

会場となった大慈清水御休み処では、3月2・3日と9・10日と2週の土日に「町家の母ちゃん食堂」が開かれました。

私も昼ごはんとして通っていたのですが、日によっては結構な人出で、12時過ぎには満席になっていることもありました。

メニューはおなじみの「ひっつみ定食」です。ひっつみ以外の料理は日替わりで、野菜を中心とした様々な料理が並び、桜の花をあしらった御飯が、春を感じさせてくれます。食後にデザートも付きました。

そして、御休み処の隣「いづみや」では、甘味処が開店。

だんごや薄焼きの販売もありましたが、なんといっても一番美味しかったのが、この「あずきばっと」でした。

要は「ひっつみのお汁粉」のようなものですが、人によって説明が微妙に違っていたりして、どうやら、ひっつみとは種類の違う粉を使っている可能性があります。

この「いづみや」にも多くの方が訪れて、いろいろな話に花が咲きました。

「母ちゃん食堂」は「旧暦の雛祭り」にも開催する予定だそうです。

盛岡芸妓「ひよ妓」お顔出し交流イベント最終日

3月16日、6回に渡って行われた盛岡芸妓「ひよ妓 お顔出し交流イベント」の最終日が、鉈屋町の三琵亭で開かれました。

前回から3ヶ月、どのような成果が見られるのでしょうか。

まずは市奈美さんから和菓子と抹茶をいただいた後、お姐さんの踊りが披露されます。

「梅は咲いたか桜はまだかいな」春の訪れを待つ気持ちを込めた、たおやかな舞です。

そして市奈美さんの入った「金山踊り」。私は芸の批評をできるような人間ではありませんが、歌声に関しては間違いなく、本物に近づいているように聞こえました。

今後も陰ながら応援していきたいと思います。

編集後記と、いろいろ

2月半ばから仕事を始めとして、いろいろと物事が動き出し、忙しくなってきました。3月17日の資源回収はお手伝いできませんでした、すみません。

消防団第2分団では、2月20日「水難救助隊訓練」に参加。

盛岡市総合プールで、ボートを使った救助訓練を行いました。

そして3月に入って、冬が戻ってきたような天気の中、春の火災予防週間の啓蒙パレード。

合間を縫って、もりおか町家物語館DOMAで行われた、長内 努さんの彫刻展「夢見るミューズたち」を見に行きました。

気が付けばもう彼岸、春分も目の前です。（桂）